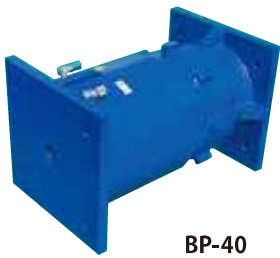
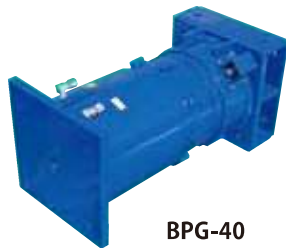


高出カプレロードジャッキ

復動ジャッキ

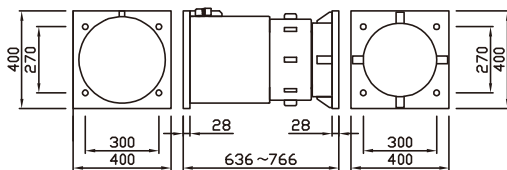


BP-40

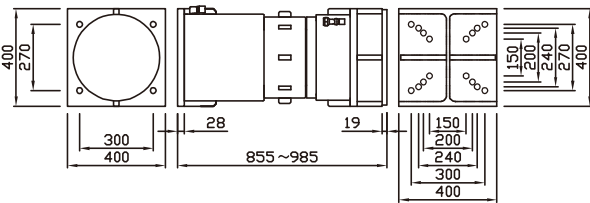


BPG-40

BP-40

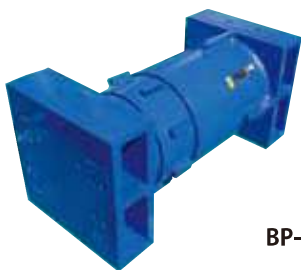


BPG-40



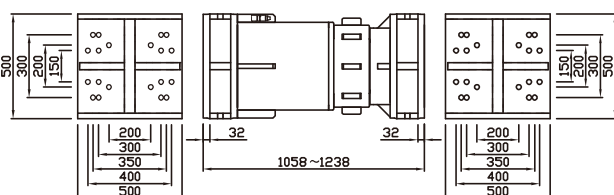
項目	形式	BP-40	BPG-40
適用H鋼サイズ		400H	400H
耐力	kN	6000	6000
常用出力	kN	3000	3000
最大出力	kN	4300	4300
受圧面積	cm ²	428.8	428.8
ストローク	mm	130	130
最大油量	ℓ	5.6	5.6
荷重計能力	kN	—	5000
荷重計受圧面積	cm ²	—	490.9
最小寸法	mm	636	855
ベース板厚	mm	28	19/28
ベース板穴ピッチ	上部側	mm	270×300 150×150 200×200 240×240 270×300
	下部側	mm	270×300 270×300
質量	kg	489	605

単動ジャッキ



BP-50

BP-50



項目	形式	BP-50	
適用H鋼サイズ		500H	
耐力	kN	8000	
常用出力	kN	5200	
最大出力	kN	6000	
受圧面積	cm ²	615.7	
ストローク	mm	180	
最大油量	ℓ	12.3	
荷重計能力	kN	6000	
荷重計受圧面積	cm ²	615.7	
最小寸法	mm	1058	
ベース板厚	mm	32	
ベース板穴ピッチ	上部側	mm	150×300 150×400 200×200 300×300 300×400
	下部側	mm	150×300 150×400 200×200 300×300 300×400
質量	kg	1070	

手動ポンプ

項目	形式	B-40D			
		高圧時	70	低圧時	2
使用圧力	MPa	高圧時	70	低圧時	2
吐出量	ml/ストローク	高圧時	2.3	低圧時	13.0
タンク油量	ℓ	2.5			
有効油量	ℓ	1.8			
質量	kg	13.5			

B-40D



3mホース×2本付属

B-40G



3mホース×1本付属

項目	形式	B-40G			
		高圧時	70	低圧時	2
使用圧力	MPa	高圧時	70	低圧時	2
吐出量	ml/ストローク	高圧時	2.3	低圧時	13.0
タンク油量	ℓ	2.5			
有効油量	ℓ	1.8			
質量	kg	11.5			

電動ポンプ

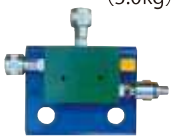
項目	形式	SMP-200B			
		高圧時	100	低圧時	3
使用圧力	MPa	高圧時	100	低圧時	3
吐出量	ℓ/min	高圧時	0.1	低圧時	2.0
タンク油量	ℓ	6.5			
有効油量	ℓ	6.0			
質量	kg	24			



※別途、超高压ホースが必要です。

高圧力油圧機材

分岐ブランチ
(3.0kg)



NHV-2

超高压ホース3m
(1.0kg)



UH-3

超高压ホース10m
(3.0kg)



UH-10

ユニットゲージ
(4.0kg)



NG-500

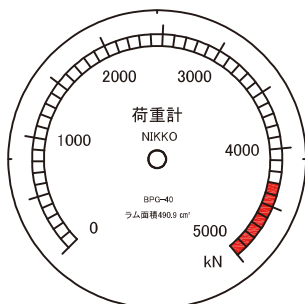
オイルキャッチャー
(0.4kg)



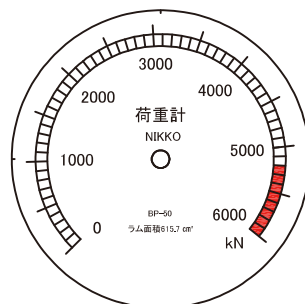
NOT-5

各種荷重計目盛板

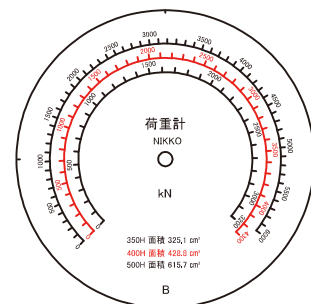
BPG-40



BP-50



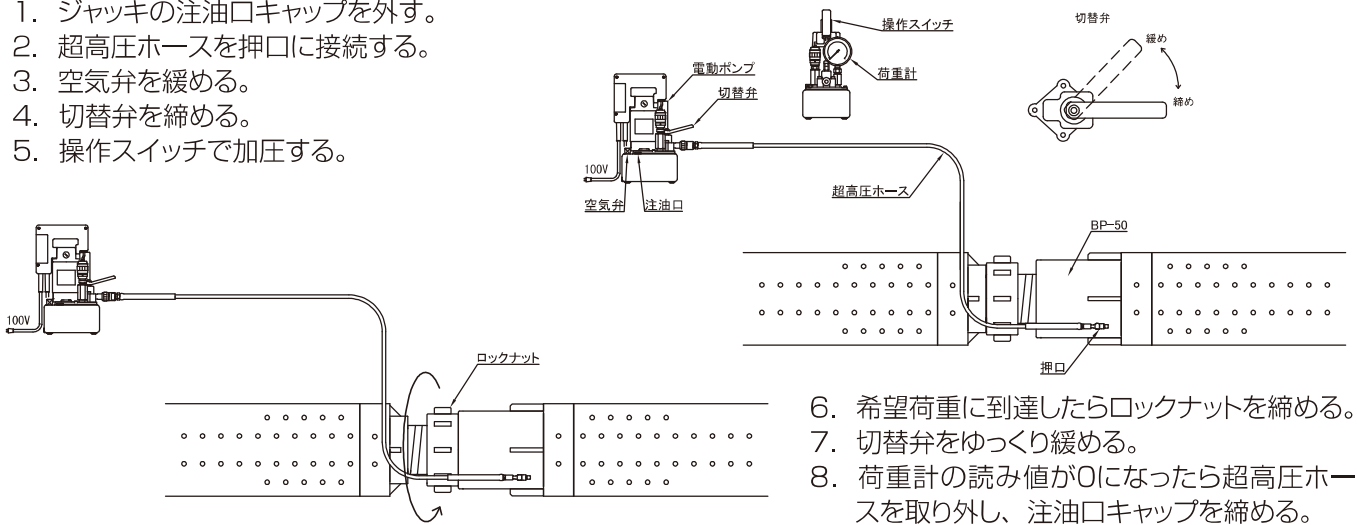
3面ゲージ



高出カプレロードジャッキの加圧方法

電動ポンプ SMP-200B使用時

1. ジャッキの注油口キャップを外す。
2. 超高圧ホースを押口に接続する。
3. 空気弁を緩める。
4. 切替弁を締める。
5. 操作スイッチで加圧する。

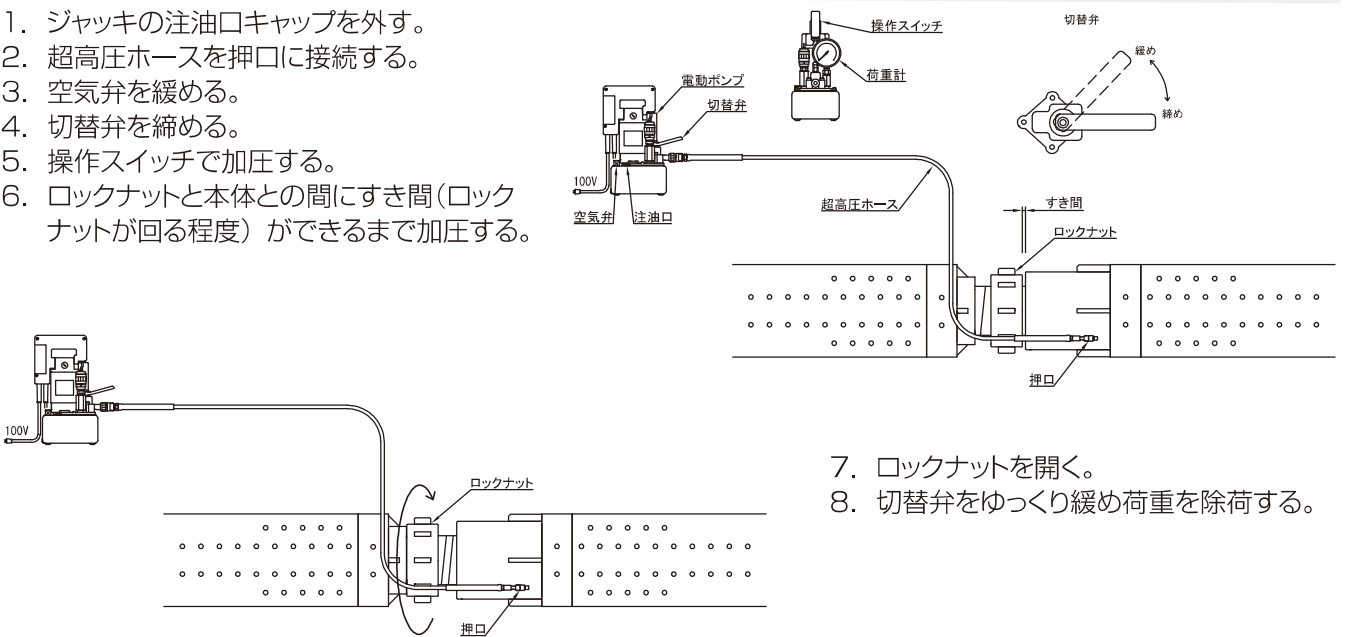


6. 希望荷重に到達したらロックナットを締める。
7. 切替弁をゆっくり緩める。
8. 荷重計の読み値が0になったら超高圧ホースを取り外し、注油口キャップを締める。

高出カプレロードジャッキの除圧方法

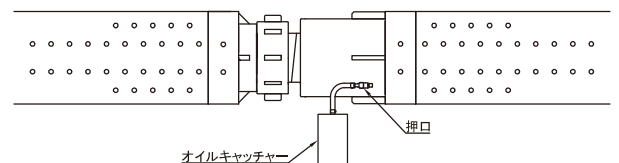
電動ポンプ SMP-200B使用時

1. ジャッキの注油口キャップを外す。
2. 超高圧ホースを押口に接続する。
3. 空気弁を緩める。
4. 切替弁を締める。
5. 操作スイッチで加圧する。
6. ロックナットと本体との間にすき間(ロックナットが回る程度)ができるまで加圧する。



7. ロックナットを開く。
8. 切替弁をゆっくり緩め荷重を除荷する。

9. 荷重計の読み値が0になったら、超高圧ホースを取り外す。
10. 押口にオイルキャッチャーを接続する。

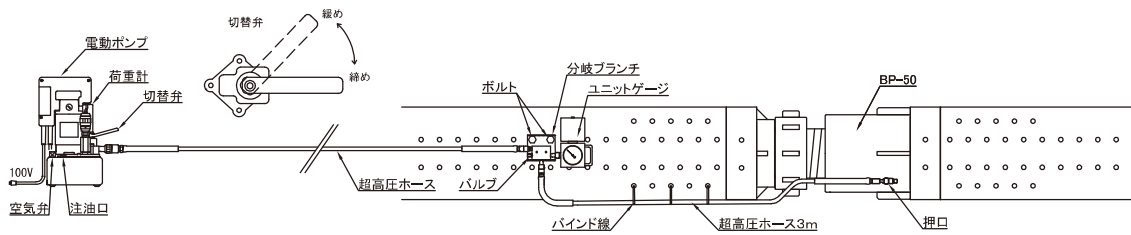


⚠ 加除圧時の注意点

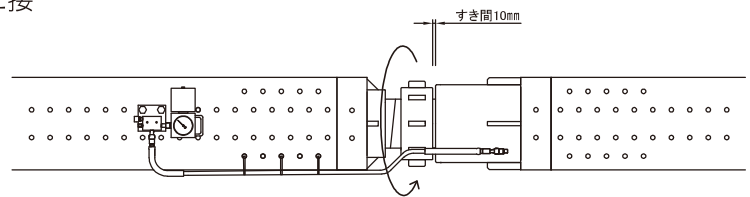
1. 超高圧ホース等の接続はモンキーレンチ及びパイプレンチを使用して根元までしっかり行ってください。
2. ジャッキストローク表を確認し加圧してください。所定以上に伸ばし過ぎると、ジャッキが破損し大変危険です。
3. ジャッキに超高圧ホースを取付ける際、油が漏れるためウエスで拭き取ってください。
4. 電動ポンプ内の油がいっぱいになった場合はバケツ等に移してください。

高出力プレロードジャッキの加圧方法

電動ポンプ SMP-200B使用時



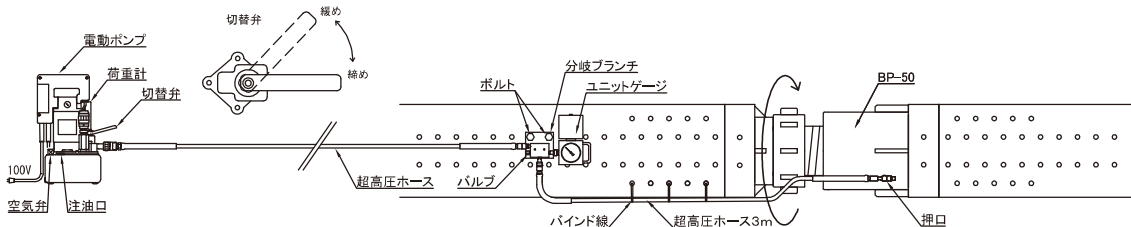
1. ジャッキの注油口キャップを外す。
2. 分岐ブランチとユニットゲージを接続する。
3. 超高压ホース3mを分岐ブランチと押口に接続、配管しバインド線等で固定する。
4. 電動ポンプの超高压ホースを分岐ブランチに接続する。
5. 分岐ブランチを切梁にボルト固定する。
6. 電動ポンプの空気弁を緩め、切替弁を締める。
7. バルブの赤線が見えることを確認する。
8. 電動ポンプの操作スイッチで加圧する。



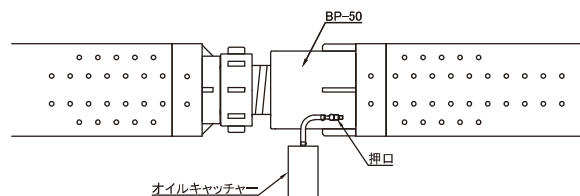
9. ロックナットをすき間が10mm程度になるまで締める。
10. 切替弁をゆっくり緩める。この時、ユニットゲージの荷重を確認する。
11. 荷重計の読み値が0になったら電動ポンプの超高压ホースを取り外す。

高出力プレロードジャッキの除圧方法

電動ポンプ SMP-200B使用時



1. 電動ポンプの超高压ホースを分岐ブランチに接続する。
2. 空気弁を緩め、切替弁を締める。
3. ロックナットを開ける。
4. バルブをゆっくり赤線が見えなくなる方向に締め込み荷重を除荷する。
5. ユニットゲージの荷重表示が0になったら、油圧機材を取り外す。
6. 押口にオイルキャッチャーを接続する。



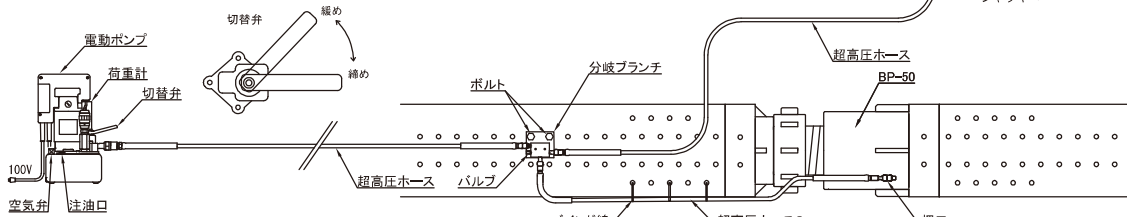
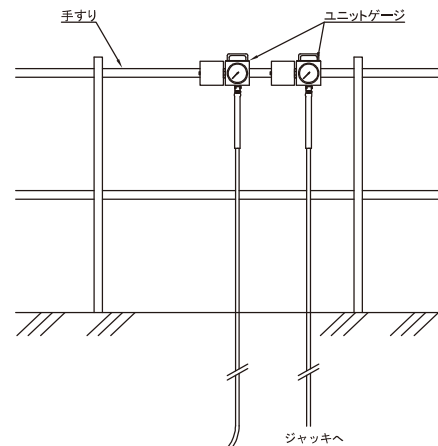
⚠ 加除圧時の注意点

1. 超高压ホース等の接続はモンキーレンチ及びパイプレンチを使用して**根元までしっかり**行ってください。
2. ジャッキストローク表を確認し加圧してください。所定以上に伸ばし過ぎると、**ジャッキが破損し大変危険**です。
3. ジャッキに超高压ホースを取付ける際、**油が漏れる**ためウエスで拭き取ってください。
4. 電動ポンプ内の油がいっぱいになった場合は**バケツ等**に移してください。

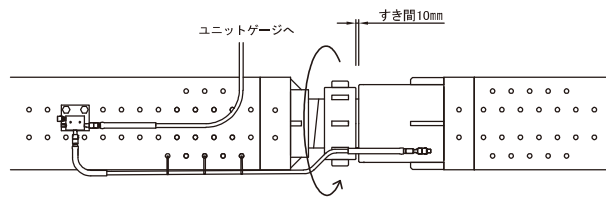
高出カプレロードジャッキの加圧方法

電動ポンプ SMP-200B使用時

1. 手すりにユニットゲージを取付ける。
2. ユニットゲージと分岐ブランチの間を超高圧ホースで配管しバインド線等で固定する。
3. ジャッキの注油口キャップを外す。
4. 超高圧ホース3mを分岐ブランチと押口に接続、配管しバインド線等で固定する。
5. 電動ポンプの超高圧ホースを分岐ブランチに接続する。
6. 分岐ブランチを切梁にボルト固定する。
7. 電動ポンプの空気弁を緩め、切替弁締める。
8. バルブの赤線が見えることを確認する。
9. 電動ポンプの操作スイッチで加圧する。
10. ロックナットをすき間が10mm程度になるまで締める。



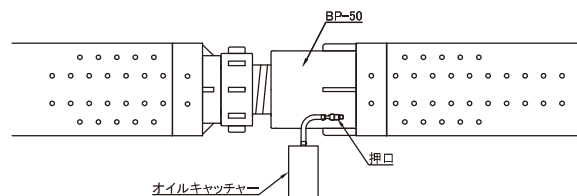
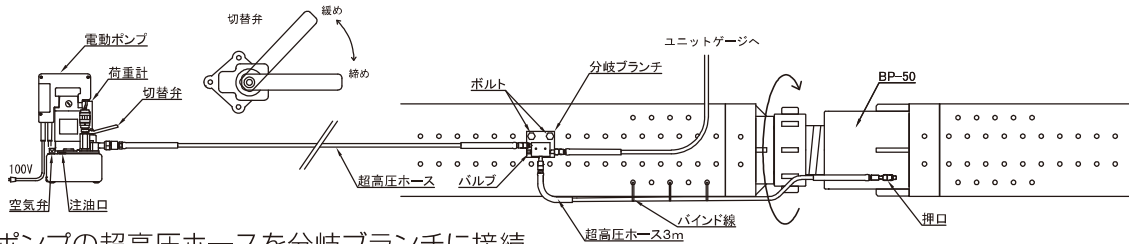
11. 切替弁をゆっくり緩める。この時、ユニットゲージの荷重を確認する。
12. 荷重計の読み値が0になったら電動ポンプの超高圧ホースを取り外す。



高出カプレロードジャッキの除圧方法

電動ポンプ SMP-200B使用時

1. 電動ポンプの超高圧ホースを分岐ブランチに接続する。
2. 空気弁を緩め、切替弁を緩める。
3. ロックナットを開ける。
4. バルブをゆっくり赤線が見えなくなる方向に締め込み荷重を除荷する。
5. ユニットゲージの荷重表示が0になったら、油圧機材を取り外す。
6. 押口にオイルキャッチャーを接続する。



⚠ 加除圧時の注意点

1. 超高圧ホース等の接続はモンキーレンチ及びパイプレンチを使用して根元までしっかり行ってください。
2. ジャッキストローク表を確認し加圧してください。所定以上に伸ばし過ぎると、ジャッキが破損し大変危険です。
3. ジャッキに超高圧ホースを取付ける際、油が漏れるためウエスで拭き取ってください。
4. 電動ポンプ内の油がいっぱいになった場合はバケツ等に移してください。